

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_通知版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.3)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)千葉市美浜区新港計画	階数	地上4F
建設地	千葉県千葉市美浜区新港228番地1	構造	S造
用途地域	工業専用地域、法22条指定区域	平均居住人員	380 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年9月 予定	評価の実施日	2024年8月16日
敷地面積	25,152 m ²	作成者	
建築面積	15,070 m ²	確認日	2024年8月16日
延床面積	54,558 m ²	確認者	

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
BEE = 1.5 S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★ 環境品質 G 環境負荷 L	30% ☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆ 100%超: ☆☆☆☆ 標準計算 ①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+ 0 46 92 (kg-CO₂/年・m²) このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです	
2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q 環境品質		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
Q1のスコア= 0.0	Q2のスコア= 3.8	Q3のスコア= 2.4
LR 環境負荷低減性		
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LR1のスコア= 3.9	LR2のスコア= 3.6	LR3のスコア= 3.4
3 設計上の配慮事項		
総合		その他
・設備システムの高効率化や節水機器の採用等により、環境負荷低減に配慮している。		—
Q1 室内環境 対象外	Q2 サービス性能 ・空間や荷重のゆとりを十分に確保し、対応性の高い建物になるよう配慮した。	Q3 室外環境(敷地内) ・高温排熱の燃焼機器を使用しておらず、温熱環境の向上に配慮している。
LR1 エネルギー ・LED照明等の設備システムの高効率化を行い、一次エネルギー消費量の削減に配慮している。	LR2 資源・マテリアル ・再利用可能な部材やリサイクル材を採用することで、非再生性資源の使用料削減に配慮している。	LR3 敷地外環境 ・燃焼機器の使用を避け、大気汚染物質を排出しないように配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される